

【一般質問】(令和6年12月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
1	河野 巧	1. 白杵市立小・中学校の今後について	<p>現在、小・中学校の適正規模、適正配置について検討委員会が設置され、このほど「白杵市公立学校のあり方に関する基本計画(案)」が公表され、パブリックコメントが実施されました。今後の学校運営及び校舎の管理等について伺う。</p> <p>(1) パブリックコメントでの意見及び回答について</p> <p>(2) 基本計画(案)にあった、佐志生小、下ノ江小、上北小、下北小の各小学校統合案や野津小、南野津小、川登小の各小学校統合案を行った場合の小学校跡地の利活用と維持費等の試算及び統廃合に伴い削減が見込まれる経費について</p> <p>(3) 地域や各関係者への説明回数及び説明内容について</p> <p>(4) 統廃合後の学校運営協議会のあり方及び子どもの不登校やいじめに対する配慮について</p>		
		2. 地域振興協議会の拠点施設について	<p>地域振興協議会の拠点施設が着々と新しくなっている。地域毎の拠点施設建設及び土地取得について、市の考え方は同じであるのか、地域毎に異なるのか、地域要望を反映する基準の有無などについて伺う。</p> <p>(1) 土地取得について</p> <p>(2) 施設の規模及び備品について</p> <p>(3) 旧施設の利活用について</p>		
		3. 旧県立野津高校跡地について	<p>旧県立野津高校跡地の利活用事業が失敗に終わり、その後、再活用に向けた取組が行われています。失敗した利活用事業実施の事務手続きに対し、監査委員や議会からも改善に向けた意見が出されました。また、利活用事業者の負債総額など全容が未だに明らかにされていません。令和6年白杵市議会9月定例会の一般質問において、JAおおいたから旧野津高校跡地のグラウンドを広域選果場の立地場所としたいとの要望があり、実現へ前向きに取り組んでいきたいと突然、市長が表明されたことについて、表明に至った経緯など、失敗に終わった利活用事業の反省の上で事務を進めているか疑問に感じたため、旧県立野津高校跡地の再活用の取り組みについて伺う。</p> <p>(1) 失敗した利活用事業者の負債額及び対応等の現状について</p> <p>(2) 旧野津高校跡地グラウンド再活用について</p> <p>① かんしょ広域選果場の候補地の要望に対する検討経過及び決裁手順、決定した時期等について</p> <p>② 広域選果場の建設にかかる白杵市の負担額及び今後必要となる関連経費等(関係機関とJAおおいたの負担割合と補助金額等)の試算について</p> <p>③ 9月議会で表明した「広域選果場は雇用の創出」と言われた新規就労人員について</p> <p>④ 広域選果場建設による経済効果及び税収増加等の想定試算について</p> <p>(3) 旧野津高校跡地の普通教室棟等の再活用について</p> <p>① 普通教室棟や実習棟、体育館、道場の再活用の計画策定の経緯と今後の再活用内容と方法、市民への周知等について</p> <p>② 今後想定する施設の再活用のための経費について</p> <p>③ 旧野津高校跡地の再活用に関する内容や経費の(これまでの負債含む)市民への説明責任の果たし方について</p>		

【一般質問】(令和6年12月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
2	安東 鉄男	1. 白杵市パークゴルフ場の運営状況等について	<p>9月1日に、待望の「白杵市パークゴルフ場」がオープンとなった。この施設が多くの方に利用されることで、地域の活性化や市民の健康増進・健康寿命の延伸にも寄与できるものと考えます。</p> <p>現在、オープンから3ヶ月が経過し、順調に運営されているものと感じているが、順調であればこそ早い段階から「Plan(計画)、Do(実行)、Check(測定・評価)、Action(対策・改善)」といった、PDCAサイクルを循環させ、業務改善やマネジメントの質を高めようというフレームワークが重要であると考えます。</p> <p>また、1年の四分の一、オープン後わずか3ヶ月であるが、この間に見えてきた成果や課題があると思われるので、このタイミングでしっかり検証を行い、今後の取組みを充実させ、さらなる集客対策や魅力の増大につなげていくことが肝要である。</p> <p>そこで以下の項目について伺う。</p> <p>(1) オープン後、3ヶ月間の運営状況について</p> <p>① 利用者数</p> <p>② 個人会員数</p> <p>③ 芝の管理状況</p> <p>④ 気候・天候対策(暑さ＝熱中症、大雨・雷など)</p> <p>(2) これまでの成果と課題について</p> <p>(3) 今後の新たな取組について</p>		
		2. 「白杵市公立学校のあり方」について	<p>令和6年白杵市議会3月定例会において、「白杵市公立学校の適正規模と適正配置について」質問した。これに対して、教育長から、『教育基本法施行規則等の国の基準を満たす公立学校は市内18校中3校しかない。白杵市としては「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実が重要と考えており、特に後者の「協働的な学び」を確保するには、小学校では12人以上の学級が6学年、つまり全校で72人以上が必要である。また、複式学級が2学級ある5校が過小規模となる。』との答弁をいただいた。</p> <p>教育委員会では、白杵市公立学校のあり方検討委員会を組織し、令和5年度に「白杵市公立学校のあり方に関する基本方針」を策定。令和6年9月5日には、当該検討委員会から「白杵市公立学校のあり方に関する基本計画(案)」についての提言書が提出された。この提言を受け、教育委員会は、令和6年10月15日(火)から11月15日(金)までの1か月間パブリックコメントを実施した。</p> <p>(1) 「白杵市公立学校のあり方に関する基本計画(案)」の概要</p> <p>(2) 今後の取組について</p> <p>(3) 中長期的な教育環境の整備について</p>		

【一般質問】(令和6年12月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答 弁 順 序	答 弁 者
3	広田 精治	1. 国民健康保険税の負担軽減について	<p>高物価の中、国民健康保険税の引き下げが求められると考えることから、以下について伺います。</p> <p>(1) 令和5年度決算における国民健康保険税の不納欠損及び滞納繰越の状況をみると、滞納件数が5,344件(1期1件としてカウント)、滞納繰越額が1億859万円となっていますが、その加入世帯数について。</p> <p>(2) 令和5年度に計上した不納欠損額1,965万円について、不納欠損とした主な理由について。</p> <p>(3) 国民健康保険基金は令和5年度決算日で10億5800万円となっていますが、過去における取崩し額とその用途について。</p> <p>(4) 国民健康保険基金を活用して、特に子育て世代の経済的負担軽減を目的に「子どもの均等割」を免除するべきと考えますが、見解を伺います。</p>		
		2. 労働施策総合推進法の改正(いわゆるパワハラ防止法)にもとづく対策の推進について	<p>(1) 改正法がハラスメント防止を義務付けたことへの本市の基本姿勢及び具体的な取組の経緯について伺います。</p> <p>(2) 令和6年白杵市議会9月定例会の一般質問の答弁で、「現在、ハラスメント防止等に関する要綱を作成中」と明らかにしましたが、その要綱について、以下伺います。</p> <p>① 条例ではなく要綱とした理由について。</p> <p>② 職員間、議員から市職員へのハラスメントについて定めるものですか。</p> <p>③ ハラスメントの内容、それがあってはならない旨の方針を明確にするものですか。</p> <p>④ 行為者について厳正に対処する旨の方針、対処内容を規定するものですか。</p> <p>(3) 本市の取組は遅く、改正法施行からすでに4年が経過しています。遅れの原因を伺います。</p>		
		3. 農地中間管理事業について	<p>(1) 農地中間管理機構(公益社団法人大分県農業農村振興公社)における農地活用の現状について、以下伺います。</p> <p>① 白杵市内に在る農地の所有者(出し手)から農地中間管理機構が借りている農地面積。</p> <p>② 農地中間管理機構が耕作者(受け手)に貸している農地面積及び機構が借りている農地の内、実態として遊休農地となっている農地面積。</p> <p>(2) 本市で展開する農地中間管理事業の課題認識について伺います。</p> <p>(3) 農地所有者と農地中間管理機構、農地中間管理機構と耕作者の間のそれぞれの契約とは別に、農地所有者と耕作者が農地中間管理機構を介さずに直接、その農地の貸借に関する約定、覚書等を交わす行為が認められるか、伺います。</p> <p>(4) 解約時、耕作者の農地所有者に対する有益費の償還請求の協議手続きと決定について伺います。</p>		

【一般質問】(令和6年12月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
4	匹田久美子	1. 地域振興協議会の拠点施設について	(1) 「まちづくり基本条例」に沿った地域振興協議会の意義とはどのようなものか。拠点施設に期待する役割は何か。 (2) 市内18の地域振興協議会がそれぞれに抱えている課題をどう把握しているか。拠点施設の機能として求められている要望にはどのようなものがあるか。 (3) 下北地区コミュニティセンターのオープンに際し、地域の特性や課題をどう捉え特徴づけているのか。住民が主体となり地域の活力を上げていく拠点づくりのために市はどのようにサポートをするのか。		
		2. 人と猫との共生社会実現のための取り組みについて	(1) 動物行政の取り組みの方向性について (2) 飼い主のいない猫について、「猫を排除するのではなく、地域の問題として捉え住民の合意のもとに適正に管理しながら共生する」という『TNR活動』(トラップ＝捕獲する→ニューター＝不妊去勢手術→リターン＝猫を元の場所に返す)について広く知らせるための啓発はどのように行っているか。 (3) 動物を命あるものとして愛護することや、環境保全の観点も含めた人と猫との共生意識の醸成などを子どものころから育むために、学校教育のなかで取り組むことへの考えや具体的な実践をどう進めるか。		
5	戸 匹 映 二	1. 快適な住環境の確保と住宅政策について	(1) 快適な住環境の確保に関する取り組みと現状の課題について ① 若年層が移住・定住しやすい住環境の整備への取り組みと課題を伺います。 ② 市営住宅の長寿命化への取り組みと課題を伺います。 ③ 空き家の活用及び老朽危険家屋への取り組みと課題を伺います。 ④ 家屋の耐震化への取り組みと課題を伺います。 (2) 今後の住宅政策の取り組みについて ① 5年、10年後を見据えた白杵市の住宅政策全般の将来目標とその実現方法を示す「白杵市住生活基本計画」の策定が必要と考えますが、いかがでしょうか。 ② 高齢者や障がい者など住まいの確保が難しい人をサポートするため、「居住支援協議会」を設立し、行政と事業所が連携した居住支援の取り組みを進めていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。		
		2. 自治体による終活支援について	(1) 一人暮らしの高齢者が亡くなった場合の白杵市の対応について ① 現状の業務対応と課題認識を伺います。 (2) 終活支援の取り組みについて ① 本人の意思や尊厳を守るために、生前にエンディングノートを作成し、緊急連絡先やお墓の所在地を登録し、万が一の際に本人に代わって登録情報を伝えるなどで、亡くなったあとの手続きを円滑にできるようサポートする「終活情報登録」制度の導入や、一人暮らしで身寄りがなく生活にゆとりのない高齢者などの生前の意思と尊厳を守りながら、葬儀・埋火葬ができる仕組みが必要と考えますが、いかがでしょうか。		